

「新人薬剤師」から「一人前薬剤師」へ

～当院の研修プログラム～



こんにちは！中国中央病院の3年目薬剤師です！

これを見られている方の多くは病院薬剤師に少しは興味を持っていただいている方なのではないかと思います。でも…

「病院薬剤師ってたくさん仕事があって自分にできるかな？」

「病棟の仕事って想像できないな…先生や看護師さんとコミュニケーションとれるかな？」

「患者さんにわかりやすく説明ができるかな？」

など不安も多く病院薬剤師に興味は持ちつつ一歩が踏み出せずにいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

でも大丈夫！私も入職した当初はそんな不安もありましたが、当院の研修プログラムを1つずつクリアすることで、今では病棟を1人で担当させてもらえるまで成長できました。

当院薬剤部では「新人薬剤師」から「一人前薬剤師」になるための3つのステップを準備しています。その様子を詳しく説明していきますので、ぜひ最後までお付き合いください！

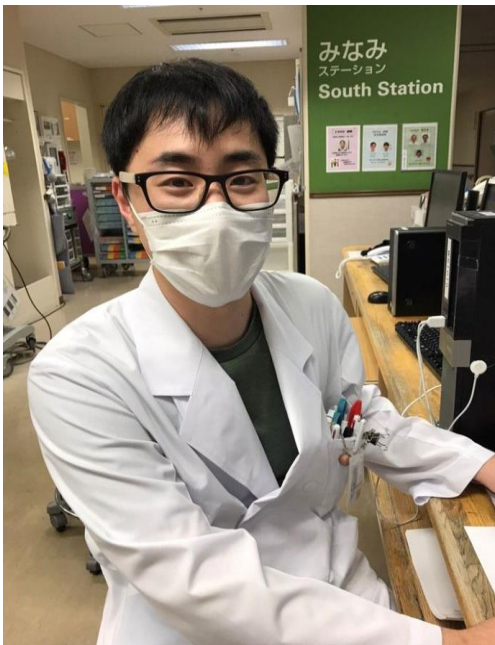
新人薬剤師体験記（上村編）

ステップ①（セントラル業務の習得）

まず入職したらはじめにセントラル業務(調剤、注射、ミキシングなど)を学んでいきます。調剤業務では取り揃えから監査までの基本、窓口業務や電話対応、注射業務では注射剤のピッキングや抗がん剤のミキシングなどを一通り経験します。ここではじめて最初の壁にぶち当たります。

「病院って薬めっちゃくちゃ多いし業務もたくさんある」…って。でも大丈夫です！当院ではプリセプター制度を取り入れており最初の3ヶ月間はプリセプター薬剤師とマンツーマンで「新人教育チェックリスト」に沿ってその日の仕事内容を振り返り、疑問点を解消していきます。

ステップ②（病棟業務の習得）



3か月のセントラル業務を一通り経験すると4か月目からセントラル業務と並行して病棟業務を半日担当させてもらいます。病棟に上がった日は「ああ…おれって病院薬剤師になったんだな」って改めて実感します(笑) 当院では比較的早期に病棟業務を経験させてもらえるのが魅力の一つだと思います。自分が調剤した薬がどうやって患者さんに投与されるか、患者さんとの面談を通して薬の効果や副作用を直に実感することができるのは病院薬剤師ならではの醍醐味だと思います。病棟業務ってピンとこないと思われる方が多いと思いますが意外とかなり業務があります。入院してきた患者さんの持参薬鑑別、病棟で処方された薬の監査、服薬指導、副作用モニタリング、TDM、退院時指導などなどです(これ以外にも沢山あります)。もちろん最初は右も左もわからない状態で病棟に上がるので最初は先輩薬剤師と2人ペアで病棟を担当します。わからな

新人薬剤師体験記（上村編）

いところがあればその場ですぐ質問できるという環境は新人薬剤師にとって安心できますし、そばで先輩薬剤師の考え方や仕事への取組み方を学べるのですごく勉強になります。また病棟では医師や看護師など多職種と一緒に仕事をしていきます。病棟にいれば1日に数件は薬の相談を受けることがあります。最初は緊張しましたがチーム医療の一員になったんだなど実感できますし、自分の提案で処方に変更になり、それが結果的に患者さんの治療にいい影響が出た場合はすごくやりがいを感じます。

ステップ③（スキルアップ研修）



せっかくセントラル業務や病棟業務でインプットした知識もアウトプットしなければ自分の力にはなりません。当院では薬剤部勉強会(症例検討会)を月1回開催し、情報交換・情報共有、スキルアップに努めています。ここではじめて人前でプレゼンを行うわけですが、これが最初なかなか苦戦します（笑）「相手にうまく伝えるにはどうしたらいいだろう」と悩むこともありますし、改めて自分が関わった症例を見返してみると「もう少しこうすることができたのではないか」と反省することもあります。また先輩薬剤師に指摘をされ自分に足りなかった点に気づかされることもあります。

さらに当院では年に数回いろいろな学会に参加しています。そこで他病院での取り組みを学び当院での業務にフィードバックさせています。新人薬剤師は毎年学会で発表するのが恒例となっています。研究テーマの立案からスライドづくりまで先輩薬剤師に指導してもらいながら一つの演題を作っていきます。発表が終わった後の解放感は半端ないです。学会が終わるとみんなで夜の街に飲みに行き出しますがそれはそれは…最高です（笑）

新人薬剤師体験記（上村編）

（しかし残念ながらここ1年はコロナ禍のため、僕たちは医療人としてそれを自粛しています。是非あの楽しかった日常が早く戻ってくることを心から願っています。）

その他、院内・院外でも様々な分野の研修会が開催されており、知識を深めることができます。当院ではこうして知識を習得する機会だけでなく、その知識をアウトプットする機会にも恵まれています。こうしたトレーニングを新人薬剤師のうちに繰り返し行うことで薬剤師としてスキルアップできるだけでなく一人の医療人・社会人として成長できます。

ここまで読んでくださってありがとうございます！

どうでしたか？働いた姿や1,2年後に成長した姿を想像できたでしょうか？最初は一つひとつの課題をクリアしていくことに精一杯で大変ですが、着実に知識を習得し、多職種と関わることでこれからの時代を生きていく「必要とされる薬剤師」に着実に近づいていけると自負しています。

当院では、薬剤部見学を随時受け付けています。薬剤部内の調剤機器を見ていただき、薬剤師外来やDI業務、治験業務、病棟業務などさまざまな業務内容を紹介し、もちろん院内の見学も出来る内容となっています。そしてなんととっても生の薬剤師の声を聞くことができるチャンスです！（僕もいます笑）モチベーションが上がること間違いなしです！ご希望の方はホームページにある案内に従いお申し込みください。

それでは就活生の皆さん、ぜひ中国中央病院薬剤部で私たちと一緒に働いて社会人として充実した時間を過ごしましょう！！